

小樽産品 × デザイン マッチングプロジェクト 2022

① 事業者概要

令和 4 年 8 月 2 日

事業者名	株式会社 本野雄次郎商店			
所在地	〒 047-0034 北海道小樽市緑 2-3-7			
ホームページ URL	http://motono.co.jp			
会社概要	設立年月	1941 年 6 月 26 日	従業員数	8 名
	事業内容	全国産海苔加工製造および北海道産昆布加工製造卸業、その他一般食品卸業		

② 商品の概要

商品名	おたる雄次郎のこぶ茶		
価格（税抜き）	660 円	内容量	100 g
保存方法	高温多湿避けた保存	賞味期限	D+540 日
現在のパッケージ	サイズ等	缶：(直径) 64 mm × (高さ) 101 mm	
	材質	個包装：アルミ蒸着袋、 外装：缶(P チックフタ)、巻紙シール(和紙)、丸シール(透明)	
	現在のパッケージ制作費 (資材費・印刷費込みの目安の金額)	1 梱包につき：缶 70 円、アルミ蒸着袋 9 円 プラスチックスプーン 2 円、巻紙 10 円、 丸シール 2 枚 4 円	
商品概要・コンセプト	素材である出汁昆布の売れ行きがなかなか厳しくなっていく昨今、お客様に手軽に美味しく使用して頂く昆布の商品がないかを考えていました。そして、創業者の本野雄次郎がその昔、昆布の粉末でお茶漬の素を製造していた当時のレシピが見つかり、レシピを改良してこのこぶ茶が誕生しました。(2004 年より販売)		
商品特性	このこぶ茶は塩味よりも先に昆布の旨味が引き立つように、原料を吟味し、上質な北海道日高昆布をメインに製造しています。その名の通り、「こぶ茶」としての訴求で売り出していますが、現在のユーザー様はお料理全般の調味料（隠し味コク出し）、お漬物（浅漬け）の素的な役割の方が大半を占めています。今回のリニューアルでは「こぶ茶」ではなく「昆布のうま味万能調味料」としての訴求を図っていきたいと考えています。		
現在の販売場所	全国の百貨店(北海道物産展立売)、道内お土産店、本州高品質スーパー		
ターゲット	40 代～主婦層、一人暮らしの男性、高齢者など		

<p>現在の商品が抱えている課題などをお書きください</p>	<p>物産展では試飲販売しているので売れ行きが良いのですが、他社の類似商品と比べると高価格なので、試飲のない店頭陳列だけだとなかなか手が伸びにくいという課題があります。そこを、パッケージの力でリカバリーできればと考えています。</p>
--------------------------------	---

③ 新パッケージデザインについて

新たなパッケージデザインについての要望

<パッケージデザイン・リニューアル概要>

- 「こぶ茶」から「昆布のうま味万能調味料」へ路線変更をしたいので、商品名の変更を含む、パッケージのデザイン・形状をリニューアルしたい。

<パッケージデザインで重要視したいこと>

- ① 「昆布のうま味万能調味料」だと伝わるデザインにしたい。
表現方法として、調味料としてよく使われている瓶(塩胡椒のような振りかけるタイプ)にすることも可能です。
- ② 商品名の変更。
こぶ茶ではなく調味料と位置づけたいので、商品名を変更したいです。
[当社で考えた商品名の案]
 - ・ 「おたる雄次郎の北海道昆布で作った 旨味調味料」
 - ・ 「万能調味料 おたる雄次郎の うま味こぶ粉」
 - ・ 「北海道産昆布の うまみ万能調味料」
他に良い案があればご提案してください。
- ③ パッケージのコストを下げたい。同時に、梱包作業の簡略化もしたい。
現在使用している缶のタイプは「コストがかかる・包材パーツが多く梱包に手間がかかる・スーパーに置きにくい」というデメリットをかかえています。商品梱包の手間を簡略化できて、コストも抑えられるようなパッケージにしていただけると嬉しいです。



<デザインテイストについての要望>

- 高級感のあるデザインを希望。
理由としては、(1)商品が高価格、(2)販売先が物産展・百貨店・高品質スーパー、であるため。
- 「老舗感」「小樽らしさ」「こだわりの素材を使用している」ことが伝わるデザインを希望。
本野雄次郎商店は古く歴史のある会社です(詳細は公式HPにてご覧ください)。小樽の昆布屋として「小樽らしさ」を強く打ち出したい。昔ながらの機材を使い、ほとんどの工程を手作業で行っています。この想いが伝わる様なデザインを期待しています。

<想定している購入用途>

- ① 自宅用
メインとなる販売先は物産展なので、手軽に美味しい料理を作るための万能調味料として、自分用の購入

を想定しています。

② お土産用・ギフト用

他の販売先として、道内のお土産屋でも取り扱っていることから、お土産用・ギフト用の購入も想定しています。

<その他の要望>

- ・ オンリーワンの味である事を打ち出したい。
- ・ 「こんぶは本野」と言わせるような商品にしたい。
- ・ できれば商品名にも入っている「本野雄次郎」のエピソードを活かしたい。

担当者からのひとこと

こぶ茶は様々な競合がある中、味は弊社の良い特色が出ているオンリーワンであると自負しています。こぶ茶として商品は使用頻度が限られてしまいますが、調味料としての訴求ですとその頻度が間違いなく増すと思いき今回の路線変更への依頼となりました。よろしくお願い致します。

商品名の変更	可能	商品ロゴの変更	可能	パッケージ材質の変更	可能	形状の変更	可能
リニューアル時に想定している初回パッケージ制作費(資材費・印刷費込みの目安の金額)	1 梱包につき 100 円以内						
その他留意してほしい点	商品の個包装は、直射日光を避けた素材(アルミ蒸着など)が望ましい。						

備考

- 今年から販売を開始した、こぶ茶のスタンドパックについて



商品の中身は缶タイプと同じですが、こちらはこれまで通り「こぶ茶」の路線で販売していく予定です。「こぶ茶」の訴求はこちらのスタンドパックで行い、「昆布のうま味万能調味料」としての訴求は今回のリニューアルデザインの方で行っていきたいと考えています。

- 商標登録されている「よい味 磯の幸 よい風味」と「よい味 磯の幸 よい香り」の使用用途の違いについて。



- ・ 商標登録されている「よい味 磯の幸 よい風味」は、海苔商品に使用しています。
- ・ こぶ茶のラベルにある「よい味 磯の幸 よい香り」は、海苔以外の商品に使用しています。